

奉仕銀行に寄せられた寄付のお礼

お預かりした寄付金は、寄付者のご希望に基づき、本会事業の推進等に大切に使用させていただきます。

寄付者 (令和3年10月～令和3年11月) (五十音順)

個人		団体 ※「寄付つき商品事業」覚書締結企業 様	
大津 由美 様	秦 美千代 様	株式会社 QTnet 様 ※	公益社団法人 福岡県宅地建物取引業協会 南部支部 様
川口 秀幸 様	船津 正明 様	株式会社 円満シニアサポート 様	Dream財団 様
高倉 治雄 様		株式会社 九電工 様	ヤナセ労働組合 様

(このほか、匿名等で多くのご寄付をいただきました)

もしもの時に役に立つ「安心情報キット」の寄贈を受けました

令和2年に引き続き、株式会社九電工様から安心情報キットを寄贈いただきました。

今年は、昨年度より1,000個多い3,000個の寄贈を受けました。市内のひとり暮らし高齢者や障がいのある方など、より多くの方々に安心をお届けできるようになりました。



株式会社 円満シニアサポート 様
マスク2,000枚を寄贈いただきました



ヤナセ労働組合 様
車いす1台を寄贈いただきました

活動報告会

日頃から福岡市社協を応援してくださっている皆様をご招待し、令和3年11月27日に活動報告会「伝えたい、私たちのイマとこれから」をオンラインで開催しました。

当日は、本会の「はなれてもつながる」見守り交流アプリの取組みと子どもの居場所の現状についてご報告しました。



「子どもの居場所のイマ」をテーマにセッション

今後も、皆様と一緒に、社会課題の解決に向け、取組みを進めていきます。

子育てを応援したい人大募集!

福岡ファミリー・サポート・センターでは、子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において「子育てを応援してほしい人(依頼会員)」と「子育てを応援したい人(提供会員)」の相互をつなぎ、お子様をお預かりする有償の援助活動を行っています。毎年、5月～1月の奇数月(年5回)に、提供会員養成講習会(3日間11時間)を開催しています。講座の詳細については、本会ホームページや市政だよりに掲載しますので、ぜひご参加ください。

【お問合せ】ファミリー・サポート・センター ☎736-1116

子育てのお手伝いもしてみませんか？
かわいい笑顔にたくさん出会えますよ！



SNSのお知らせ

Facebook・Twitterのページを新しく開設しました。福岡市社協の取組みや講座情報などを配信していきます。ぜひ、フォロー&いいね!をお願いします。



注目の1冊



withコロナ
新しい生活様式で進める地域づくり
「つながりを切らない」
情報・交流ネットワーク 編 /
全国コミュニティライフサポートセンター)

コロナ禍の中で生まれた地域づくりの工夫、新しいつながり方とは？ハガキやお弁当、インターネットなどを使った「つながりを切らない」ための様々な試みを紹介します。

【お問合せ】福祉図書・情報室 ☎731-2946

ご利用ください 本紙「ふくしのまち福岡」は、本会ホームページ (https://fukuoka-shakyo.or.jp) で公開しています。また、朗読 CD も配布しております。お気軽にお問合せください。

この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。

ふくしのまち福岡



福祉 × ICT で “はなれてもつながる”

楽しい会話がわたしの活力!

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、集う活動や見守り活動の自粛が余儀なくされました。そのことにより、人と会って話す機会が減少し、孤独感が増えたり、うつ傾向になったりする高齢者が増えています。そして外出の頻度が減少して閉じこもりがちとなり、筋力が低下してしまうことで、さらに外出する機会が減少するといった悪循環を生んでいました。

地域活動者のもとには、ふれあいサロンで仲間と会話することを楽しみにしていた高齢者から「皆に会いたい」と再開を心待ちにする電話や手紙が届き、活動者の方々からも「その期待に応えたい」「顔を見て話せないのが寂しい」という声がありました。

そこで私たち社協職員は「皆さんが大切にしてきた“ふれあう活動”を守りたい」という強い思いを抱き、福祉とICTを組み合わせることで解決できないかと、オンライン上で顔を見ながら会話ができるアプリの開発に着手しました。

現在は、試作品を使って検証を行っています。モニターの高齢者からは、「在宅酸素療法でほとんど外出することがなく、コロナ禍の中で人と会話する機会がさらに減少しましたが、アプリを使うと相手の表情を見ながら話せるので元気になります。こうして会話する時間を持てたことが幸せです」という感想をいただきました。

この事業は、コロナ禍の中だけでなく、コロナ後の活動も豊かにする仕組みとして多方面から期待が寄せられています。今後も改良を重ね、地域福祉活動の新たなインフラとなることを目指していきます。

【お問合せ】事業開発課 ☎720-5356

社会福祉法人 **福岡市社会福祉協議会**

☎ 751-1121 FAX 751-1509

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39
福岡市民福祉プラザ4階
URL <https://fukuoka-shakyo.or.jp>
Eメール sohmu@fukuoka-shakyo.or.jp



コロナ禍の中でも
活動や学びの歩みを
止めない!

ボランティアセンターでは 各種ボランティア講座を開催しています

新型コロナウイルスの感染拡大は、本会が進めているボランティア活動や地域での支え合い・助け合いの活動にも大きな影響を及ぼしました。人が集まるのが難しい中、新たな担い手の養成やスキルアップのための各種ボランティア講座・研修会の開催も制限されました。

特に、感染が広がり始めた直後の令和2年度は、本会ボランティアセンターにおいても、いくつもの講座をやむなく中止しましたが、令和3年度は、感染拡大の事態にも備えた企画にするなど、工夫しながら講座を実施しています。

本会ボランティアセンターで実施している各種ボランティア講座（※一部を紹介）

- 視覚障がい者外出サポート(ガイド)ボランティア講座
- 高齢者外出支援ボランティア講座
- 知的障がい・発達障がい者支援ボランティア講座
- 傾聴ボランティア講座
- 音訳(朗読)ボランティア講座
- 点訳ボランティアフォローアップ講座
- テキスト訳ボランティア講座
- 災害ボランティア講座
- 介護支援ボランティアフォローアップ研修
- など

～コロナ禍の中での実践例～

★傾聴ボランティア講座

会場の密を防ぐため、会場とオンラインを併用して開催しました。会場での講話の様子をオンラインにもつなぎ、実技やグループワークは、会場参加者同士、オンライン参加者同士でそれぞれ行いました。

★介護支援ボランティアフォローアップ研修

緊急事態宣言発出中の開催だったため、オンラインのみで実施しました。複数の介護施設の様子を動画で紹介し、施設職員の方と参加者で交流や質疑応答をすることで、オンラインでも様々な学びを得ることができました。

実習や体験が必要な講座は、オンラインでの実施が難しいものもありますが、プログラムを変更したり、参加人数を減らしたりするなど、感染防止対策を行いながら、今後もできる限り講座を開催していきたいと思っております。



【お問合せ】
ボランティアセンター
☎713-0777

「防災フェア」に参加しました

令和3年11月6日、福岡市役所西側ふれあい広場で開催された「福岡市防災フェア」に参加しました。

この催しは、防災・交通安全・防犯について「見て!学んで!体験できる!」参加型のイベントとして、福岡市で初めて開催されたものです。当日は約40団体の防災関係機関が啓発ブースを出展し、約3,000人の来場者でにぎわいました。

本会は、災害ボランティアや災害ボランティアセンターについて紹介するパネル展示ブースを出展しました。日常の中ではなかなか知る機会のない活動について、周知・啓発することができたのではないかと思います。

本会では、今後も災害時に備えた地域づくりやネットワークづくりに取り組んでまいります。



「福岡^{りん}の会」の音訳ボランティアが 全国表彰及び地区表彰を受賞しました

公益財団法人鉄道弘済会と社会福祉法人日本盲人福祉委員会の主催による第51回「朗読録音奉仕者感謝行事」において、ボランティアセンター登録の音訳ボランティアグループ「福岡^{りん}の会」の佐伯裕子様が全国表彰を、野村和美様が九州地区表彰をそれぞれ受賞されました。「福岡^{りん}の会」は、視覚障がい者の方に寄り添い、「できるだけ断らず、各人の努力で完成する」をモットーとし、元アナウンサーを講師に迎えて勉強会を実施するなど、技術の向上を目指して活動を続けておられます。顕著な功績に敬意を表しますとともに、今後の益々のご活躍と活動の発展をお祈り申し上げます。



赤い羽根共同募金会からのお礼



共同募金運動につきましては、令和3年度も多くのお金をいただきました。お寄せいただいた募金は、配分審査委員による現地調査や配分審査委員会を経て、令和4年度に福岡市内の校区社会福祉協議会や、福岡市・区社協の活動費、福祉施設・団体の事業費として、大切に活用させていただきます。

募金の使い道は、インターネットでもご覧いただけます。（「赤い羽根ありがとうマップ」で検索してください。）

【お問合せ】

福岡県共同募金会福岡市支会

☎720-5350

赤い羽根ありがとうマップ



▲赤い羽根
ありがとうマップQRコード



～共同募金配分金を活用して福岡市社会福祉協議会が実施している事業～

法人後見事業

判断能力が不十分な高齢者や障がい者の財産や権利を守るため、本会が成年後見人等に就任する法人後見事業を実施しています。本会が実施する事業の利用者等で、判断能力が低下した方を中心に、現在42名の成年後見人等に就任しています。法人後見業務の実施にあたっては、「市民後見人養成研修」を修了した市民等と雇用契約を交わし、本会職員とともに被後見人等への支援を行い、本人の尊厳ある暮らしを支えています。



被後見人（ご本人）とのオンライン面会の様子

【お問合せ】 あんしん生活支援センター ☎751-4338

ずーっとあんしん安らか事業

身寄りのない高齢者等と契約を結び、その契約に基づいて死後の葬儀や家財処分等のサービスを実施することで、安心して生活することができるよう支援しています。定期的な見守りを行いながら、契約者の死亡時には、預託金によりご希望に応じた内容の葬儀や家財処分等の死後事務を行います。令和2年度は7名の方を見送りました。



故人の生前の希望に従い、海洋散骨を行いました

【お問合せ】 終活サポートセンター ☎720-5356

ホームページの運営

ホームページをより使いやすく快適にご利用いただけるよう令和3年4月にリニューアルしました。

本会が取り組んでいる社会課題や職員の活動などを紹介しています。

今後、より一層内容の充実を図ってまいりますので、ぜひご覧ください。



福岡市社協

このほかにも、様々な事業で共同募金配分金を活用し、福岡市の地域福祉を推進しています。今後とも、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。